

2023年度 日本工学院専門学校											
コンサート・イベント科 1年次											
イベント・メディア業界研究 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	南澤 薫			実務 経験	有	職種	ディスクジョッキー				
担当教員紹介											
30年以上、大手レコード会社のA&Rで数々の有名海外アーティストの担当。そこで培った音楽知識をもとに、ディスクジョッキーとしてラジオ番組にも多数出演。レギュラー出演の番組も継続中。幅広いジャンル、年代をカバーできているからこそ、今流行している音楽の成り立ちやルーツを様々な切り口で解説できる。											
授業概要											
若いうちに聴くべき幅広い音楽ジャンルを歴史を紐解きながら紹介し、現代のJ-POPに繋がるプロセスを理解する。音楽への興味を深めるべく毎回既存の音楽素材を紹介し、その音源に繋がるルーツを探る。サウンドの種別を理解することにより一流の音楽家とも渡り合えることを理解させ、自発的に新しい音源を模索できるよう、音楽を聴くことの楽しさを伝えていく。現代の音楽が過去の音楽からどのようなつながりを得て構成されているかを解説することにより、楽曲に取り入れられたリズムやコード進行がどういった意図で組み込まれたものなのかを理解していく。作品研究を行うことを学習目的とする。											
到達目標											
世界のポピュラーミュージックの歴史を習得して、音楽業界に通用する人材へと育成する。およそ60年のポピュラーミュージックの歴史を大局的・俯瞰的に説明する。学生の関心が高い音源がどのように成り立ったかを解説し、音楽の深い部分を追求できるような業界のプロとなる。また様々な楽曲に触れることにより興味を持てるジャンルを増やし、学生の音楽に対する視野を広げることも目標のひとつである。視覚的にだけでなく聴覚的に音楽と向き合うことにより、より研ぎ澄まされた感覚で音楽と向き合うことができる。すべての楽曲にルーツが存在することを理解し、自発的に作品研究ができるよう、音楽に対する意識を高める。											
授業方法											
この講義では主に音源試聴を軸とし、講師の説明と現実がリンクする内容を提供する。コンサート・イベント科の学生は興味のあるアーティストに携わる仕事を望む傾向にあるため、興味や関心の幅を広げることによって就職先の視野も広げる。この講義を経て学習内容をふまえて音楽の歴史に精通する人材となる。											
成績評価方法											
筆記試験 100% 前期終了時に実施する前期試験で音楽に仕事として携わるために必要な知識やボキャブラリーが身に付いているかを確認。											
履修上の注意											
主に板書と配布する資料を中心に講義を進めていくが、大人数での講義のため質問がしづらい可能性がある。そのため、講義の最後には質疑応答の時間を設け、学生の理解不足を解消するようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書はなし、必要に応じてレジュメを配布する。授業計画とともに、実際に授業を実施するときに話題となっている楽曲やアーティストをカリキュラムに取り入れるタイムリー性も大事な要素である故に、ネットなどのメディアも活用し、臨機応変に授業を展開していく。											
回数	授業計画										
第1回	ソウル・ミュージックの歴史③～ブラコン/ブギー/NJS/808ソウル										
第2回	4度あった世界的ダンス・ミュージック・ブーム～1/60年代前半、2/ディスコ										
第3回	4度あった世界的ダンス・ミュージック・ブーム～3/90年前後、4/EDM										
第4回	題の新譜/及びその周辺情報（予定）										
第5回	映画音楽の世界的ヒットの歴史										

2023年度 日本工学院専門学校	
コンサート・イベント科 1年次	
イベント・メディア業界研究2	
第6回	話題の新譜に合わせて欧州/北欧からのヒットの歴史（予定）
第7回	ロック・サイドストーリー①～1960/1970年代
第8回	ロック・サイドストーリー②～1980/1990年代
第9回	ポピュラーミュージックとしてのクリスマス・ソングの歴史
第10回	作品理解（2） 現状チャートの詳細解説～チャートイン・アーティストのヒット歴史
第11回	年間チャート①～各ディケイドの年間チャート1位作品/50、90、00、10年代
第12回	年間チャート②～各ディケイドの年間チャート1位作品/60、70、80年代
第13回	エンターテインメント（洋楽）の仕事①～洋楽系レコード会社の歴史・現状
第14回	エンターテインメント（洋楽）の仕事②～制作・宣伝、音楽出版、招聘イベンター
第15回	日本独自の洋楽ヒット 全体のまとめ